

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆世界企業、3四半期連続増益 10～12月、米国がけん引

・世界の企業業績が伸長。2024年10～12月期の純利益は前年同期比21%増の約1兆776億ドル(約162兆円)と、3四半期連続で増益。人工知能(AI)関連需要の拡大などを背景にテクノロジーや金融など米国企業がけん引。足元では米景気の減速が懸念されており、業績好調が続くかが焦点となる。

◆都区部物価、2月2.2%上昇 伸び縮小も基調変わらず

・総務省が発表した2月の東京都区部の消費者物価指数(中旬速報値、2020年=100)は、変動の大きい生鮮食品を除く総合が108.5と前年同月比で2.2%上昇。エネルギー関連の政府補助の再開で4カ月ぶりに伸び率が縮小。補助が終了する春以降は再びエネルギーが押し上げ要因となり、人手不足による価格転嫁なども進む。

◆2月生産予測5.0%上昇、半導体好調 3月低下で一進一退

・経済産業省が発表した生産予測調査によると、2月の製造工業の生産計画は前月比5.0%上昇。上振れを考慮した補正值は2.3%上昇。半導体関連の受注が増え、生産活動を押し上げる。2月の生産見込みを業種ごとにみると、生産用機械工業が14.0%増とけん引。半導体やフラットパネルディスプレイの製造装置の受注が旺盛。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆マンション給排水管、寿命40年「更新」には1戸数百万円

・築年数が40年超など高経年のマンションが増えるなか、給排水管の更新工事が急務に。建物の外壁などを修繕しても、内部の給排水管が老朽化すれば、漏水などが発生して住みにくくなる。工事には億単位の費用がかかるが、設備を刷新できれば、建物の寿命を延ばせる。資産価値が高まる可能性もある。

◆ダイキンが砲弾製造撤退 防衛相「投資家の理解得たい」

・中谷元防衛相は記者会見で、投資家に防衛産業の重要性への理解を求めた。ダイキン工業が投資家からの圧力が要因となり、白リン発煙弾と呼ばれる砲弾の製造から撤退する。「防衛産業の持つ社会的な意義と役割を投資家も含めた幅広い層に理解いただけるよう積極的に広報したい」と語った。

◆1月の新設住宅着工戸数、持家4カ月ぶり減少、分譲戸建ても2ケタ減

・国土交通省が公表した1月の新設住宅着工戸数は5万6134戸(前年同月比4.6%減)で、9カ月連続の減少となった。増加が続いていた持家が4カ月ぶりに減少。貸家、一戸建の不振が続く分譲住宅も減少。季節調整済み年率換算値は77万4000戸(前月比1.2%減)。利用関係別にみると持家は1万3525戸(前年同月比8.6%減)。

《 注目商品 》

■リンナイ、「GRILLER(グリレ)」10年ぶりにモデルチェンジ

・重厚感のある鋳物五徳とガスならではの強火力が特長のビルトインガスコンロを10年ぶりにモデルチェンジ。鋳物五徳は直線的で堅牢なデザインに刷新し、3つの五徳が1つの大きな面となるように構成。点火つまみを従来品より6mm大きくし、操作性に配慮。



■山善、「ハンドル付きバスケットキャリー」

・前後に付け替えが可能なバーハンドルを採用し、アウトドアのほか作業現場などのキャリーとしても活躍する『ハンドル付きバスケットキャリー』を、3月上旬から発売。路面の状況に応じてタイヤの使い分けができる。



■工機HDジャパン、「HiKOKI」から36Vコードレスマルチツール

・コードレスマルチツールCV 36DMAは、336Vブラシレスモーターを搭載したことにより、負荷の大きい鋼材等でも切断が可能。ブレードの振り角を4.0°に拡大したことで切断速度の大幅な向上を実現。より容易にブレードの交換ができるように。

